

和倉小だより

6月号 No.11

教育目標 「自ら学び共によりよく生きようとする児童の育成」
学校ホームページ <http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>
学校メールアドレス wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp

令和元年6月27日
七尾市立和倉小学校
TEL 62-2070
FAX 62-2082
文責 岩崎

いざというときに備えて

21日（金）避難訓練を行いました。目的は「迅速に対応することができる（職員）」「落ち着いた態度で指示に従い、適切な行動をとることができる（児童）」です。

6限後の15時30分に、能登半島沖で震度5の地震が発生したという想定で緊急放送が流れ、机の下に隠れ頭を保護しました。その後、運動場（1次避難場所）に避難して人数の確認をしました。避難指示からの所用時間は2分41秒でした。

そして、津波警報発令を受け、4階（2次避難場所）に避難しました。昨年までは、和倉の郷公園が2次避難場所でしたが、和倉小学校の4階は海拔28mで津波の避難場所としては問題ないということなので変更しました。ついで学年から順に人数の確認を行い、避難指示からの所要時間は3分41秒でした。

私は、「日本は地震が多く、先週火曜日の夜も山形沖で地震が起き、石川県に津波注意報が出ました。地震はいつ起きるか分からないのでいざというときに備えて訓練を行っています。自分の命や体は自分で守る気持ちを忘れないでほしい。」と話しました。



机に隠れる3年生



1次避難の様子



2次避難をする1年生

引き続き、16:15より「保護者引き渡し訓練」が行われました。職員は、受付担当と児童誘導担当に分かれ、対応しました。家庭の都合で引き渡しができなかった児童は、地区別に分かれて担当職員と一緒に集団下校をしました。

学校は、「家庭や地域から、信頼される学校」をめざしており、避難訓練や引き渡し訓練は、その一環としての活動です。引き渡し訓練で何かお気づきのことがありましたら、学校まで連絡をお願いいたします。



受付をすませ一緒に帰宅

たばこ・酒・薬物の危険性を学ぶ！

19日（水）の5限目に、能登中部保健福祉センターの職員と田鶴浜高等学校看護学科専攻科の2年生6名が来校し、「薬物乱用防止教室」が開催されました。

はじめに、センターの畑田さんが、酒とたばこの体への害について、健康な内臓と影響を受けた内臓を比べたスライドを使って5・6年生にわかりやすく紹介した後、未成年が喫煙・飲酒すると体が成長しにくくなり、大人になった時に病気になりやすくなることを教えてくださいました。また、違法薬物の危険性についても学習しました。



次に田鶴浜高の学生が、飲酒や喫煙を勧められたときの断り方を劇で紹介してくれました。5・6年生は正しい知識と自分の体を大切に思う気持ちがあれば、はっきり断ることができることを教わりました。

次に田鶴浜高の学生が、飲酒や喫煙を勧められたときの断り方を劇で紹介してくれました。5・6年生は正しい知識と自分の体を大切に思う気持ちがあれば、はっきり断ることができることを教わりました。

☆和倉こども園児との交流(4年生)☆

26日（水）に交流学習に行ってきました。はじめの挨拶を宮本 楓さんが行い、2歳児（すみれ組）と3歳児（たんぽぽ組）の2つの教室に分かれて交流が始まりました。



が終わりの挨拶をしました。

2学期は、園児が喜びそうなおもちゃやゲームを自分たちで作って、交流学習をする予定です。次に会うときに園児がどれだけ成長しているのかとても楽しみです！

はじめに自己紹介をした後、遊び相手に用意したメッセージを読んであげてカードを渡しました。すみれ組はブロックとままごとを順番にしました。たんぽぽ組は玄関前で色水遊びをしました。はじめは緊張気味でしたが、次第に仲良くなり、お互いに声を掛け合い、表情もにこやかになりました。一緒にお片付けをした後、多田 光希さん



Let's call..オアシスライン

受付時間：13:00～16:00（月曜～金曜）

相談内容：悩んでいること、困っていること

* 匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～

～親と子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783

